

## 呼吸器疾患ネットワーク研究実績(結核)

国立病院機構のネットワークを活用した多施設共同研究を実施

研究課題名	施設名(実施機関)	研究期間
難治性結核・抗酸菌症の疫学・予防・診断・治療に関する研究	近畿中央胸部疾患センター (28施設)	H16年度 ~ H20年度
政策医療呼吸器ネットワーク構築	近畿中央胸部疾患センター (54施設)	H16年度 ~ H20年度
高齢者結核の実態調査と治療マニュアル作成と宿主要因解析	東京病院 (24施設)	H21年度 ~ H23年度
多剤耐性結核・超薬剤耐性結核(XDR-TB)の実態調査及び迅速診断・迅速入院法・治療法(新しい化学療法剤、外科療法等)	近畿中央胸部疾患センター (23施設)	H21年度 ~ H23年度
難治性結核(糖尿病合併結核・HIV合併結核)の実態調査と対策、及び難治性結核予後診断法の開発	近畿中央胸部疾患センター (23施設)	H21年度 ~ H23年度
新しい抗リウマチ薬(インフリキシマブ、エタネルセプト、アダリムマブ、トシリズマブ等)による結核発症に対する予防・診断法の評価調査とメカニズムの解析	近畿中央胸部疾患センター (ネットワーク参加施設)	H22年度 ~

# 政策医療の提供内容・実績とそのネットワーク

全国病院ネットワークによる人的・技術的・資金的な相互支援を実施しながら、  
診療・臨床研究・教育研修が一体となった事業を展開

## 民間ではアプローチが困難な医療

### ○国立病院機構の病床シェア

- ①心身喪失者等医療観察法 73.4%
- ②筋ジストロフィー 95.5%
- ③重症心身障害 38.2%  
(医療の必要の高い患者を多く受入)
- ④結核 39.1%  
(多剤耐性結核など難治性の患者を多く受入)

## 国家の危機管理 (大規模災害や感染症発生時等)

- 新型インフルエンザ対策  
厚生労働省の要請に基づき、新型インフルエンザ発生時に  
検疫所等へ、延べ医師237名、看護師282名を派遣
- 災害等における活動  
災害医療センターを中心とした全国の国立病院機構  
災害拠点病院が国、自治体等と連携し活動  
機構病院のDMAT: 21病院 60チーム
- ☆新潟中越地震発生直後より医療班を派遣するなど、  
継続的に医療支援を実施 35病院 延べ64班 派遣
- 国民保護法において、国民のために医療を確保する  
法的義務が課されている(国レベルでは当機構と日赤のみ)

## 国の政策上、特に体制確保が求められる事業

- 4疾病5事業  
がん: 60病院 循環器: 50病院  
脳卒中: 33病院 糖尿病: 41病院
- 救急医療 救命救急センター: 17病院  
救急輪番参加病院: 67病院
- 災害拠点病院: 17病院 へき地拠点病院: 7病院  
周産期医療 総合周産期: 4病院 地域周産期: 14病院
- 小児医療 小児医療拠点病院: 17病院  
救急輪番参加病院: 38病院
- ☆地域医療連携  
地域医療支援病院 40病院  
紹介率 55.0% 逆紹介率 44.1%  
地域連携パス実施病院数: 65病院

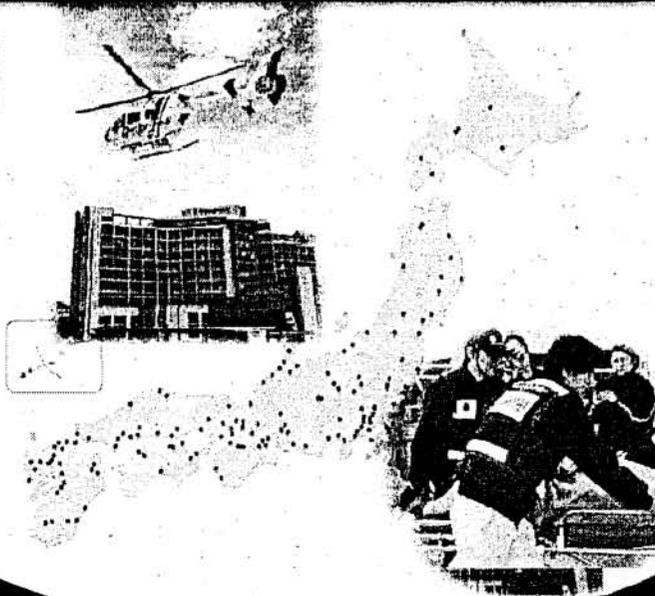
## 診療事業

## 臨床研究事業

- 新型インフルエンザワクチン(H1N1)の臨床試験等を、  
厚生労働省の要請を受けて、迅速に実施し、有効性・  
安全性等を検証。  
(短期間で2万人を超える被験者のデータを収集)
- ワクチン接種回数の決定など医療政策の方針  
決定に貢献
- ネットワークを活用したEBMのためのエビデンス  
づくりの推進など臨床現場と一体となった大規模臨  
床研究を実施
- 入院治験をはじめとする難易度の高い治験など迅速  
で質の高い治験を実施
- ☆過去3年間に承認された268品目のうち  
約6割(154品目)の治験に参画

## 教育研修事業

- 質の高い医師、看護師等の育成  
臨床研修指定病院 基幹型 53病院  
協力型 116病院
- 機構独自の専修医制度(後期研修)
- 特定看護師(仮称)の育成に向けた取組  
東京医療保健大学国立病院機構校の開設(H22.4)
- 職種横断的な研修の実施  
(チーム医療推進のための研修)
- 災害医療、EBMの推進などについて、  
臨床と一体となった質の高い医療従事者の  
研修の実施



医療の質の均てん化  
ドラッグラグの解消

# 全国144病院のネットワーク

医療従事者の育成<sub>2</sub>